

- ・対象地域：厚岸町
- ・地域人口：10,630人(平成22年)
- ・漁港：厚岸漁港(3種)、床潭漁港(1種)
- ・漁業就業者：1,344人(平成22年)

厚岸地域マリンビジョン

～新鮮な魚介類で溢れ、活気に満ちた漁村を次世代に継承～

(平成26年3月改訂)

■拠点漁港のタイプ

○衛生管理流通拠点漁港

拠点漁港



第3種厚岸漁港



門静地区

地域の資源等



カキえもん



大黒サンマ

【位置図】



現状と課題

現状

- 町の人口は、減少と高齢化傾向
- 漁業や水産加工業を中心とした産業構造
- コンプ主体の多数沿岸漁業経営の不安定化
- 温暖化などの環境変化
- 通過型観光地（滞在型観光地となっていない）
- 地震多発地帯であり、過去にも被害発生

課題

- 沖合漁業・水産加工業の安定化と相互連関強化
- 沿岸漁業の構造改善
- 厚岸産水産物の確固たる地位の確立
- 資源の減少
- 後継者の確保
- 災害時の水産物流通機能の確保
- 都市との交流推進
- 防災機能の向上・生活環境の整備
- 生産・生活の基盤である自然環境の保全
- エコ化の推進

地域の目指す姿

■ビジョンの特徴

水産業を核とした地域活性化や沿岸漁業の構造改善による漁業経営活性化、豊かな環境の次世代への継承、自然・水産業を活かした交流と災害に強い町づくりを目指す。



(1) 水産業を核とした地域産業の活性化

～水産業を基幹産業とした活力ある町づくり～

衛生管理施設の整備と体制の強化、水産物のブランド化、外来船誘致により水産業を核とした地域振興を推進する。また、災害発生に備えて水産物の流通機能の確保を図る。

(2) 沿岸漁業の構造改善による漁業経営の強化

～持続的沿岸漁業が営まれる町づくり～

つくり育てる漁業の推進による沿岸漁業の生産金額の増大と複合漁家経営の推進、沿岸漁業後継者や高齢漁業者対策を、的確かつ総合的に推進し沿岸漁業構造改革を図る。

(3) 豊かな沿岸環境の次世代への継承

～豊かな自然を伝えていく町づくり～

厚岸湖・厚岸湾における漁場環境保全や漁場環境監視、自然エネルギーの活用による漁港漁村のエコ化を図る

(4) 自然・水産業を活かした交流と災害に強い

町づくり～ふれあいと安心の町づくり～

都市漁村交流の場としての魅力ある漁村づくりや緊急物資搬入・避難場所の確保等災害に強い町づくりを推進する。

地域マリンビジョン協議会

■マリンビジョン協議会（上位組織）

行政代表者、漁業協同組合長、買受人組合長、商工会長、観光協会代表、自治会連合会長、釧路太田農協組合長、厚岸翔洋高校校長

■マリンビジョン推進検討会

漁協沖合・沿岸漁業・養殖漁業各部会代表者、漁協青年部・女性部各代表、買受人組合代表、トラック協会代表、石油業協会代表、漁協各関係者、商工会代表、観光協会代表、自治会連合会代表、釧路太田農協関係者、厚岸翔洋高校代表、厚岸味覚ターミナルコンキリエ代表者、行政関係者

■オブザーバー

行政関係者

■事務局

厚岸町、漁協関係者

地域資源（特徴）

- 全道はもとより全国有数の漁業生産基地
- 多種多様な水産資源とそれを支える水産基盤
- 厚岸湖・厚岸湾等の優れた自然環境と漁場環境

【主な地域資源等】

- ・『えもんシリーズ』、『大黒シリーズ』のブランド品
- ・厚岸湖、別寒辺牛湿原、大黒島等豊かな自然環境
- ・活気ある水産物市場、漁協直売所、道の駅

漁港の将来像

- ①生産・流通拠点としての機能の向上
地元及び外来船が安全に係留・停泊できる水域確保
- ②徹底した衛生管理対策の機能の向上
高度衛生管理体制の確立（湖南地区第2ふ頭）
- ③沿岸漁業効率化と構造改革に資する拠点機能の向上
新たな沿岸漁業創出や漁業活動効率化に資する施設整備
静穏域の創出やコンプ増養殖などのつくり育てる漁業の推進
- ④災害時の緊急船舶が発着できる岸壁の耐震強化対策

ビジョン実現のための主な取組み

- 衛生管理対策の導入とブランド化の推進、地産地消や都市部でのイベント開催により、取扱魚価の向上に加え、他地域との差別化による厚岸産水産物の確固たる地位を確立する。
- 外来サンマ棒受け網漁船・イカ釣り漁船の積極的な誘致を行い陸揚量・金額の増大を図る。
- 漁業の多角化、資源管理等の施策により、厚岸沿岸漁業の足腰の強化と構造改革を推進する。
- 厚岸湖内・厚岸湾内の自然環境に関する万全の保全体制確立し、豊かな漁場環境を次世代へ継承する。
- 自然環境や歴史・文化、産物などの地域資源を十分に活用し、地域住民・都市住民にとっても魅力ある漁村づくりを推進する。更に、大きな震災等に備え、災害に強い安全・安心のまちづくりを推進する。